

日野宿発見隊 通信

第十三号

発行／日野宿発見隊（日野図書館内）042・584・0467

今年もやっぱり日野宿うおーくらりー！

例年、新選組まつり二日目の日曜日に開催していた「うおーくらりー」日野宿」を今回は五月九日の土曜日に開催しました。

土曜日の日野宿を盛り上げようと、地元の有志により日野宿応援隊も結成され、発見隊もこれに呼応したものです。

あいにく開始前から小雨が降り出し、かなり状況は厳しいものがありました。開始時刻の十時より前から、スタート地点の「ギャラリー&カフェ大屋」前に、傘をさして待つ参加者の皆さんの行列ができていたのは本当に驚きました。

日頃の行いがよかったのでしょうか、やがて雨もあがり、参加者の数があれよあれよと増えていき、なんと昨年よりも百名ほど多い四百二十名と大変な盛況振り。



雨にも負けず！ 受付の大屋前

今回の特製缶バッジは「選之介」でしたが、胸にバッジをつけて宿内を楽しそうに歩く皆さんの姿をみて、土曜日に開催するリスクも考えられただけに、準備した事務局としてはホッと旨をなでおろしたところでした。

なお、今回はボランティアの方や職員応援隊など、約四十五名のご協力にて開催することができました。心より感謝申し上げます。



歴代の新選組まつりのポスターを展示



大昌寺山門

第十回こども発見隊

日野用水であそぼう！

七月二五日（土）午前九時半から十一時半まで、新東光寺地区センター前の日野用水で水辺にすむ生き物観察会を行いました。

幼児から五年生まで児童二十一名と、合計三十四名の参加がありました。

子どもたちの保護者やスタッフも加わり、早速田んぼに向かいましたが、あいにく田んぼの方は水が遮断されているため、三グループとも用水をフィールドに行いました。
二グループは、待ち受ける谷さんと今回特別参加の実践女子大生の学生さんをもつ大網めがけて追い込み班が追い込みます。その獲物はオイカワ、カマツカ、コイ、カワムツなどでした。オイカワは元気がよく、勢い余って水槽から飛び出してしまうほどでした。





今回も用水で見つけた魚や昆虫について、水生生物の生態に詳しい鶴田さんからいろいろ教えてもらいました。生き物好きの子どもたちにとっては最高の一日になったようです。

明星大学「星友祭」に

ひまわり号と参加

十月三十一日(土)、移動図書館ひまわり号といっしょに明星大学の星友祭に参加してきました。

雨天のため中止となった十月十一日のこどもまつりでしたが、今回五十回目となった星友祭に、奇しくも図書館開設五十周年を迎えた日野市立図書館が招かれたのを機に、

日野宿発見隊も同席させてもらいました。

日野宿からはかなり離れた程久保地区ですが、大学生や地域の人たちに日野宿発見隊の日頃の活動を紹介したいとの思いからでした。

スタッフは日野宿発見隊五名(事務局・日野図書館職員二名含む)と実践女子大生一名、ボランティア一名でした。



高台に建つキャンパスだけに北寄りの風はかなり冷たく感じましたが、雨にもならず地域の子どもたちや親御さんたち、また図書館学を学んでいるという学生さんたちとの交流ができました。

また、屋内にセッティングされた日野宿発見隊の活動を紹介する展示コーナーでも、ひまわり号のパネルとともに見学される来場者の姿がありました。それにしても、寒いなかでも夢中になってひまわり号の塗り絵や工作に熱中するこどもたちには頭がさがるばかりです。



学内展示

なお、こどもたちとひまわり号に関心を寄せられた学生さんなどに、お好みの色の特製缶バッジをひとつ差し上げました。百五十個用意したバッジですが、ほとんどはけてしまいました。



日野宿発見隊
特製缶バッジ

図書館まつりで

特製のひまわり号缶バッジを配布

十一月二十八日(土)、イオンホールで開かれた日野市立設立五十周年記念「図書館まつり」の会場で、来場した子どもたちに日野宿発見隊製作の「初代ひまわり号」特製缶バッジを配布しました。

青色・黄色・ピンクの三種類の缶バッジ三二二個を用意しましたが、スタッフも含めてすべてなくなりました。少なく見積もっても二七〇人以上の子どもたちがまつりに来てくれました。大人の皆さんも含めるとかなりの参加でした。

図書館五十年を祝うこのまつりに、日野宿発見隊としてもお役にたてうれしい限りです。しかし、五十年はあくまでも通過点。これからも日野市立図書館が市民にとっての図書館であり続けることを心から願っています。

まち歩き会のご案内

「谷仲山・川辺堀之内方面を訪ねて」

開催日 三月二十六日(土)

午前九時から正午

集合 日野図書館

申込 三月十七日(木)から

二十四日(木)までに

日野図書館まで

(電話) 584-0467